

電源について

※通常は、シガープラグコードを接続せずに使用できます。

本機はシガーライターソケットからの充電・使用に加え、ソーラープレートによる太陽光からの充電ができます。

初めてご使用になるときは、付属のシガープラグコードを使い、充電しながらご使用ください。(走行中、駐車中にも太陽光から充電されますが、気象条件、使用環境に左右されないより確実な初期充電を行うことができます)

■ソーラーバッテリーの充電と使用方法

電源ボタンの入/切に関係なく充電できます。1度充電したあとは、シガープラグを抜いて、そのままお使いください。(シガープラグで充電する場合、ローバッテリーアラームが鳴った状態から約15時間でフル充電できます。フル充電したあとは、まったく充電されない状態でも、無警報時で約50時間の連続使用ができます)

ローバッテリーアラーム機能について

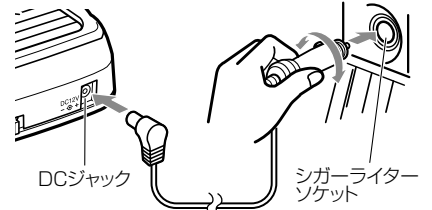
初期充電不足や太陽光が当たらない条件下での使用が続くバッテリーが消耗してくると、バッテリーランプが点滅し、アラーム音が鳴り出します。このようなときは充電が必要です。付属のシガープラグコードを使い、充電しながらご使用ください。



シガーライターソケットからの充電と使用方法

付属のシガープラグコードを、DCジャックと車のシガーライターソケットに差し込む

シガープラグは、2、3回左右にひねりながら差し込みます。



警告

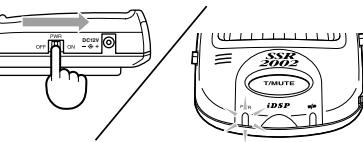
助手席エアバックの妨げとなる場所に配線しないでください。電源コードが妨げとなり、エアバックが正常に動作しなかったり、動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。

音量／受信感度を設定する

※設定は必ず停車中にパーキングブレーキを確実にかけて行ってください。

1 電源を入れる

電源スイッチをONにします。

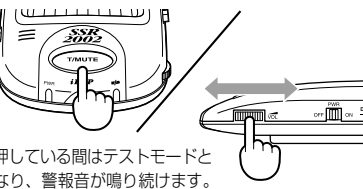


確認音(□□)ピロップピロップ…)が数秒間鳴り、パイロットランプが点滅します。

※節電のため、パイロットランプは点滅で動作します。

2 音量を調節する

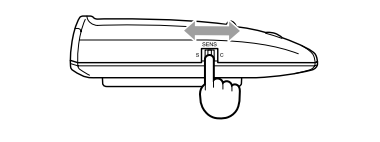
テスト&ミュートボタンを押しながら、電源スイッチ付音量ツマミを回します。



※テスト&ミュートボタンを押す前から警報機能が動く場合は、近くで発信されている取締りレーダー波と同じ電波を受信しているためです。この状態でボタンを押すと、ミュート機能が働き、警報音が止まります。

3 受信感度を選ぶ

受信感度セレクトスイッチで切り換えます。



スーパー感度モードとカットダウンモードの切り換えができます。

受信感度について

受信感度が高いほど、遠くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じほかの電波も受信しやすくなります。走行環境や条件に合わせて、受信感度をお選びください。また、受信感度が高いほど、ステルスや新Hシステムなどの受信には有効となります。

■受信感度の切り換え

	受信感度	走行環境や条件
高い	スーパー感度モード	郊外や高速道路
↑		
低い	カットダウンモード	市街地

便利な機能について

オートクワイアット/ディマー機能

警報が約30秒間続くと、自動的に音量が小さくなり、アラームランプも暗くなります。

後方受信

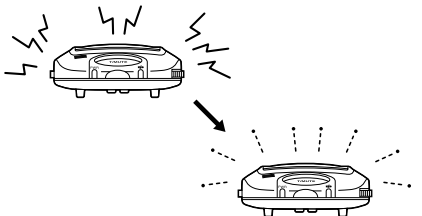
iDSPによる超高精度識別およびスーパー感度の高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もシッカリ受信します。

ターン・オン・ビーブ

電源入ったとき、確認音が鳴り、電源が入ったことをお知らせします。

●取締りレーダー波の発信源の確認ができた

警報中にテスト&ミュートボタンを押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報音を一時的に消すことができます。



警報機能について

本機は統合的デジタル信号処理技術により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常の警報音とは違うニアミスアラームでお知らせします。[ステルス識別] また、新Hシステムの[種類の異なる電波]に対しても通常波と同様に警報します。[新Hシステム対応] ※ステルス識別はステルス型の取締り機に対して完全対応というわけではありません。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

Wアラーム方式

音(電子音)と光(アラームランプ)のダブルで警報します。

接近テンポアップシステム

各警報は、取締りレーダー波発信源への接近に応じて変化します。

ステルス型取締り機について

ステルス型取締り機は他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要ときに短時間強い電波を発射して、速度の測定ができる狙い撃ちの取締り機です。従来機では、先頭を走行せずに2番手以降で走行していても、一瞬しか警報されません。

取締り機(電波の種類)	警報音
ステルス型取締り機(必要なときのみ、短時間発射される狙い撃ち的な連続波)	ニアミスアラーム(ピロップピロップピロップ…)が鳴ります。
通常取締り機(常時発射されている連続波) 新Hシステム<新型オービス>(常時発射されている、種類の異なる電波)	警報音が鳴ります。電子音は断続音から連続音に変化します。

新Hシステムについて

電波を用いる自動速度取締り機(オービス)の一種ですが、他のオービスとは種類の異なる電波(周波数は同一)を使用しているため、従来機では探知(受信)しにくくなります。ただし、このシステムでは証拠の記録をする前に、電光掲示板で「速度オーバー」や「速度超過」などの警告がありますので、これらの警告を見かけたら注意してください。



仕様

電源電圧	: 3.6V(ニッケル水素電池 1.2V×3) 12V(シガープラグ入力電圧)	動作温度範囲	: -10℃～+85℃ (充電可能温度範囲: -5℃～+85℃)
消費電流	: 待機時 3mA以下/ 最大 45mA以下 (電子音アラーム時)	本体外形寸法	: 65(W)×22(H)×90(D)mm(突起部含まず)
受信方式	: スイプオシレーター式ダブルスーパードesign方式	本体重量	: 94g
受信周波数	: Xバンド、Kバンド		※製品改良のため、仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

取締りのミニ知識

本機と、取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

スピード違反の取締り方法

大きく分けて3つの方法があります。

1.追走して測定する方法(追尾方式)

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。※本機は後方受信しますが、この追尾方式は電波を出しておりませんので、受信および警報することはできません。

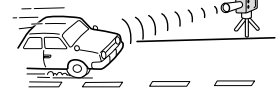
2.距離と時間で算出する方法(光電管式、ループコイル式)

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や埋め込みの磁気スイッチなどが使われています。

※これらの方式は電波を出しておりませんので、受信および警報することはできません。

3.電波を使って算出する方法(レーダー式)

電波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。現在、スピード違反の取締りには、この方法が多く採用されています。この方法は、歴史も古く、種類、台数が多いことから、今後も取締りの主流となると思われます。



取締りレーダー波について

取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

●定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。取締りレーダー波は、直進性が強いいため、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。

●移動式

測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。

●自動速度取締り機(オービスIII)
速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



Kバンドについて

Kバンドは、米国ですで使用されている取締りレーダー波の周波数で、日本国内でも採用される可能性があります。本機は、現在国内で使用されているXバンドに加え、Kバンドも受信できるX・Kツインバンド対応です。

アフターサービスについて

1.保証書(本取扱説明書に付いています)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

2.保証期間

お買い上げの日から1年間です。

3.対象部分

機器本体(消耗部品を除く)

4.修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、使用車名(車種)、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。

●保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お

買い上げの販売店まで保証書とともに、機器本体とシガープラグコードをご持参ください。保証書の内容にしたがって修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき

ます、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

5.アフターサービス等についてご不明の点は

お買い上げの販売店または下記のご相談窓口にご相談ください。ご相談の受付時間は、月曜日～金曜日9:00～17:30です。ただし土曜日、日曜日、祝祭日、振替休日および年末・年始等は受け付けいたしておりません。お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

故障かな?と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

症状	チェック項目
電源が入らない	●電源スイッチがONになっていますか。 ●バッテリーが消耗していませんか。シガープラグコードを使って充電してください。 ●オートパワーOFF機能が働いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。
充電できない	●太陽光を十分に当てても充電できないときは、シガープラグコードを使って充電できるか確認してください。 ●シガープラグで充電できないときは、シガープラグ内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。
反応(警報)しない	●電源が入っていましたか。パイロットランプの点滅を確認してください。 ●警報機能が正しく働きますか。テスト&ミュートボタンを押して確認してください。 ●オートパワーOFF機能が働いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。 ●取締りレーダー波が発射されていたか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型など、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。(とくにオービスIIIではよくあります) ●取締りが「レーダー方式」で行われていましたか。
取締りもしていないのに警報機能が働く	●ローバッテリーアラームではありませんか。バッテリーランプが点滅しているときは、シガープラグコードを使って充電してください。 ●取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能が働くことがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。 ●まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。<取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器> ・電波式の自動ドア、防犯センサー ・信号機の近くに設置されている車輪通過計測機 ・NTTのマイクロウェーブ通信回路の一部 ・気象用レーダー、航空レーダーの一部 ・他のレーダー探知機の一部
警報の途中で警報音が小さくなりランプ類も暗くなる	●警報が続くと、バッテリーの消耗を抑えるために、警報音が小さくなり、ランプ類が暗くなります。(オートクワイアット/ディマー機能) ●カットダウンモードでは警報音がはじめから小さくなったり、すぐに警報音が小さくなったりする場合があります。

●ユピテルご相談窓口一覧

お客様ご相談センター

TEL. (0564)45-5599

地 区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北8条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2番和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・長野・新潟・静岡(西部の一部地区を除く)	東京営業所・サービス部 TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・福井・静岡(西部の一部地区)	名古屋営業所・サービス部 TEL. (052)461-1281 〒453-0053 愛知県名古屋市中村区中村町6-5
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL. (082)230-1711 〒733-0001 広島県広島市西区大芝2-9-2
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092)552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

●上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
●電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。